

新地町の復旧・復興状況

2016年12月

新地町の主な復興事業の進捗を写真で紹介しています。

5年9ヶ月ぶりにJR常磐線が再開通しました。



常磐線は不通区間のうち「相馬～浜吉田間」が、12月10日、5年9ヶ月ぶりに再開通し盛大に式典が行われました。

開通式には、安倍総理大臣も出席しました。



新地町の復旧・復興状況

住まいの再建（1） 防災集団移転促進事業は、7団地で約99%（空き区画除く）が入居済または建築中です。



作田東団地（防集16区画、町営住宅6戸）



作田西団地（防集28区画、町営住宅9戸）



岡団地（防集18区画、町営住宅14戸）



雁小屋団地（防集58区画、町営住宅27戸）



大戸浜団地（防集23区画、町営住宅11戸）



富倉団地（防集8区画）



雁小屋西団地（防集6区画）



広場に「かまど」ベンチを設置し非常時にも対応

防災集団移転団地は、町の中心から概ね「1.5km」の範囲に7団地157区画を整備しました。これまでに、全区画の「約99%」の方が住まいを再建して入居しています。

新地町の復旧・復興状況

住まいの再建（2） 災害公営住宅、被災高齢者共同住宅



愛宕東町営住宅(30戸)



作田東町営住宅(6戸)



作田西町営住宅(9戸)



雁小屋町営住宅(27戸)



駒ヶ嶺原町営住宅(6戸)



岡町営住宅(14戸)



大戸浜町営住宅(11戸)



新地駅前町営住宅
26戸が完成し年内入居開始



災害町営住宅は、防集団地5地区他3地区に整備し、最後に完成した新地駅前も年内に入居可能です。また、被災した高齢者のため、台湾赤十字社の支援により22世帯分の共同住宅を、小川の地場産市場向かいに整備しました。

新地町の復旧・復興状況

新地駅周辺土地区画整理事業、JR常磐線復旧事業、防潮堤・防災緑地整備事業



土地区画整理事業の完了時イメージ



区画整理：二期目の分譲も12月20日に開始しました



区画整理：元の住民の住宅やアパート再建が進む



2016年12月10日の開通式



広々と整備された駅前広場



跨線橋上部から望む鹿狼山は絶景です



完成した埴浜地区の防潮堤・地区の皆さんと



2015年3月のどんぐり植樹祭



釣師防災緑地イメージ

新地町の復旧・復興状況

道路、農林水産業（釣師浜漁港、排水機場、農地、河川）の復旧



町道：大戸浜富倉線は8/22共用開始



県道：舗装待ちの浜街道(相馬亘理線)



県道：金山新地停車場線は新ルートで完成



釣師浜漁港



建設中の水産加工施設(大戸浜地内)

沿岸部から内陸に向かう道路は、震災の教訓から踏み切りを無くしました。釣師浜漁港は岸壁嵩上げ、漁具倉庫整備が終わり、荷さばき所の建設も始まりました。また、水産加工施設整備も進んでいます。



被災した農地も復旧し作付け



埴浜排水機場の復旧が完了



河川：役場裏の砂子田川、拡幅と新橋の工事中

新地町の復旧・復興状況

大規模プロジェクト、福田地区定住促進、町外からの移転者状況、仮設住宅の集約



相馬港(町内)に建設中のLNG基地



新地インターに建設中の高速バス停留所



福田定住促進住宅12戸が完成、8/10から入居



町外からの移転者の多い「岡地区」



町外からの移転者の多い「駒ヶ嶺原地区」



撤去された仮設住宅・総合公園グラウンド



「がんごや」仮設住宅は当分の間残ります

震災後、町外からも多くの被災者の方々が町内に住宅を再建し、その戸数は百戸を超えています。中でも新地岡地区、駒ヶ嶺原地区は多い地区です。新地駅周辺土地区画整理事業は、町分譲地第一期分募集を行い抽選となる人気で、第二期もこれから募集します。

仮設住宅は、町民の住まい再建が大きく進んだため、集約された一部の団地を除き撤去され元の土地利用に戻されました。町外の入居者が今も多い「がんごや仮設住宅」は、現在も約70世帯が入居しています。

一新地町の復旧・復興状況

震災から約5年9ヶ月が過ぎた「平成28年12月11日現在の復興状況を事業別に紹介します。

各事業の進捗状況

1. 防災集団移転	新団地は高台等に7箇所整備され、入居済と建築中は98.6%(空き区画除く)と再建が大きく進んでいます。
2. 災害公営住宅	愛宕東、駒ヶ嶺原、大戸浜、岡、雁小屋、作田東、作田西が入居済み、残る新地駅前も完成して入居手続中です。仮設住宅は2つの団地に集約され、それ以外は撤去されました。(がんごや仮設住宅には町外被災者が今も多くの方が入居しています)
3. 被災高齢者共同住宅	台湾赤十字の支援を受け、老夫婦や一人暮らしの高齢者を対象に建築した平家の集合住宅で、3棟22戸あります。(H25/11月から入居)
4. 区画整理	役場北側の新地駅を含む「23.7ha」、約4メートル盛土して津波に備えた新しい街を造成。震災前住民の住宅再建も進み、保留地の第一期分譲も行われ抽選となる人気でした。また、防災センター(兼)消防署が完成し移転、新地駅周辺には企業の社員寮が出来る等、新しいまちづくりが進んでいます。
5. 防災緑地	釣師防災緑地(約18ha):被災宅地跡に盛土施工中。「どんぐり」も植樹されて育成中です。 埴浜防災緑地(約24.5ha):同様に盛土工事を実施中で、元地区の皆さんでコスモスを植えています。(県事業)
6. 道路	(復興道路) 町道:避難道路は既に供用を開始。また、地区を連絡する新たな路線として雁小屋線を新たに整備しています。 県道:相馬亘理線のバイパス工事が進んでいます。また、金山新地停車場線は以前の作田地区前から、6号国道～新地駅前へ直行するルートになりました。 (災害復旧) 町道:17箇所中沿岸部を除く16箇所で復旧が完了しました。 県道:橋梁や路面の盛り土工事が進んでいます。金山新地停車場線作田地内は、復旧が終わり工事用道路として供用しています。
7. 河川	(改修事業) 砂子田川:新地駅周辺の区画整理事業と一体で、河川拡幅改修が進められています。(県事業) 地蔵川:河口付近堤防を高くするのに合わせ、ルート変更と護岸工事を実施中。(県事業) (災害復旧) 濁川、三滝川、埴川:河川堤防の嵩上げを県事業で実施し、工事はほぼ完了しました。
8. 海岸	防潮堤:以前より1m高い「TP7.2m」の高さに嵩上げする工事が一部を除き終わりました。(県事業)
9. 農業	農地復旧:約309ha中H25まで69%復旧完了しました。ガレキや堆積物等の被害が大きかった、旧・JR常磐線東側農地も復旧いたします 排水機場:排水機場3箇所の復旧が終わりました。(県事業)
10. 漁業	釣師浜漁港は、岸壁の嵩上げ、漁具倉庫再建が完了し、荷さばき所の建築も始まりました。漁港南方沿岸部には民間による水産加工施設を建設中で、来春稼働の予定です。
11. JR常磐線	12月10日に、浜吉田～相馬間が5年9ヶ月ぶりに再開通しました。